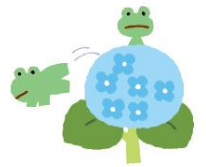


広場の保育室前に、てんとう虫の砂場を出してから、子ども達が外で遊ぶようになりました。小さなバケツがあるだけで、石を拾ったり、梅の実を集めたり、「大切なもの」をたくさん入れて、幸せな気持ちで満たされ笑顔になるから不思議です。

子どもは、歩けるようになると、靴を履くだけで嬉しくなります。そして、(まだ出来ないのに)「自分で履く!!」と全力で主張します。任せてみると、集中して何度かチャレンジして、やっぱり「やって〜」ということになります。そして、家の中でも靴(新しい靴)を履いて過ごす…というご経験は、皆さんおありなのではないでしょうか。子どもにとって、「靴を履く自分」は、どんな気分なのでしょうね。外界への果てしない希望に満ち溢れているのではないかと私は想像します。

「自分で!!」という、未来に向かって自分で歩き出そうとしているこの子の強い意思を尊重してあげられる「人生の先輩」でありたいです。



## 6月の広場のこんな出来事 こんな話

<桜の聖母短期大学 保育×食育プロジェクト2018 ③>

### 「梅ジュースを作ろう!」

6月12日、子どもたちは、木の下に落ちている梅を見つけてバケツに拾いはじめました。Sちゃんのお母さんは、子どもたちの発見を受け止め、共感しながら、更に興味を深めていきます。(さすがです!)



Rちゃん(2歳3か月)は、紫色のバケツを手にくいつ拾ったかな? Aちゃん(2歳6か月)とSちゃん(2歳)はベンチに座って、自分が拾った梅を見せながらお話しています。

Tくん(2歳9か月)は、とうとう木の枝に梅の実が生っていること発見! そうなんです。梅の実は、地面に生えてくるのではないのです!

春に梅の花を見上げ、舞い落ちる花びらを追いかけ、いつの間にか葉が青々と茂り、そして、豊かな実をつける。こんな素敵な教材が、保育室の前に生えていてくれるなんて!

(いいえ、梅の木のあるところに、保育室が引っ越してきたのでした)とにかく、梅の木よ、そこに居てくれてありがとう!!



6月19日、今日は本格的に梅の収穫です。大人は全員上を見上げて「梅落とし」に夢中。子どもは全員下を見て「梅拾い」に夢中。保育室に来てくれた堺先生（現在、福祉こども専攻責任者ですが、元幼稚園教諭）に「丁度良いところに来てくれました！ 先生、今から梅採ります」と私。



ところで、なぜ「虫取り網」で!? Sちゃん(2歳9か月)の網、重そうに垂れ下がっています。途中から、バケツに替えたいね。この方が持ちやすいことに気付いたのかしら? 初めからバケツを渡すのではなく、経験してみて、どれが良いかを選択できるようになる、ここにも大切な学びがありますね。



Mくん(2歳7か月)もお姉さんが持ってきているビニール袋に、せっせと梅を運びます。そして、一緒に「どこにあるかな～」と木の上を眺めています。





Ｙくん（３歳 11 か月）は、重たい袋を持って、満足げな表情です。途中、木登りにも挑戦してみましたが、「怖い」と断念。まだ３歳だもんね。来年はきっと、もっと強く大きくなったＹくん、また挑戦してくれるかもね。

そして、梅を採るのにちょうどいい！と持ってきた「仕切り棒」で「カーン、カーン・・・」と踏み切り遊びをしているＳくんＭくん（１歳 11 か月）のお母さん。子どもの好きなものに見立てて遊ぶのが上手ですね。素晴らしい！



堺先生「おじさん、梅のところまで、抱っこしてあげようか？」「にまっ」と笑顔のＭくん。高い木に実る梅を自分の手で採る貴重な体験をしました。



Ｙくん（３歳 11 か月）も抱き上げてしまう堺先生。保育現場に男性保育者が居る意味を感じます。

そして、子どもにきちんと尋ねて了解を得てから抱き上げる真摯な姿勢。「子どもの人権を大切にする」とは、このようなことを言うのでしょうか。

あれ？ ところで堺先生、何の用事でいらしたのですか？ お蔭様で、たくさん子どもたちが、梅の収穫を満足するまでできました。また、遊びに来てくださいね～。



さて、保育室に戻って、梅ジュースを作ることにしましょう。まずは、梅を５つ（約 150g）数えて、水洗いします。どの子も水遊びは大好きです。しかし、今日は「梅ジュースを作る」というワクワクする目的がありますから、水で遊んでいる場合ではないと思ったのでしょうか。みんな、水遊びにはならず、テーブルにつきました。梅の水気、上手に取れたかな？ へたは、お母さんが取ってくれたね。そして、梅と氷砂糖、同量を交互に瓶に入れます。カラカラカラ～とガラス瓶に当たる良い音がしま

す。

今日の梅仕事に参加したのは、子ども 18 名、大人 17 名、合計 35 名。大人はつつい自分でやりたくなってしまいうけれど、子どもが興味を持って、自分でやりたがったときに「任せて」「見守る」と、我が子の集中力や自主性に感動すると思いますよ。上手に失敗無く梅ジュースを作ることが目的ではなく、梅ジュース作りの中で、子どもが失敗しながら、慰めてもらってまた元気になりながら、試行錯誤しながら、認めてもらって嬉しくなりながら・・・多くを学ぶことが目的です。今日も、みんなで、みんなの子どもを愛情いっぱいに育てた 1 日でしたね。



梅ジュース、完成！ ラベルを貼って、お土産です。おいしいジュースが出来ると良いね。お蔭様で、広場にもたくさんの梅の瓶が並んでいます。夏がきたら、広場でたくさん遊んだ後に、お母さんとお姉さんと一緒に、冷たい梅ジュースをいただきましょう！

自分で「収穫して」、「作った」、意味のあるモノを仲間と共にごいただく経験は、子どもの心を膨らませます。





保育室の梅シロップたち

毎日ココロしていると、何だかかわいく思えてきて、愛おしく思えてくるから不思議です

## 梅シロップ

材 料	出来上がり約 4 人分
梅	大5粒 (約 150g)
氷砂糖	150g
酢	大さじ 1



### 梅シロップの作り方 ♪子ども参加のポイント

①梅を水洗いして、水気を拭き取り、竹串でヘタを取る。

♪水洗いも楽しいね

♪梅の香りを味わおう

②瓶に、生梅、氷砂糖を交互に入れる。

♪「ひとつ、ふたつ、みっつ・・・」数えてみよう いくつ入るかな?

♪梅の緑と氷砂糖の白、きれいな色だね

③酢を入れて瓶をやさしくひっくり返し、すみすみまで梅を濡らす。(殺菌効果)

1日1回、ふたをしたまま軽く振り混ぜ、冷暗所に置いておく。

♪瓶をやさしく振ると、カラコロきれいな音がするよ

※氷砂糖が完全に溶けて、梅の実がシワシワになって、エキスの色が変わってきたら出来上がり

※梅を取り除き、冷蔵庫で保存してください

### 梅シロップの楽しみ方

梅シロップを作って持ち帰った方、その後、いかがでしょうか。保育室内の梅シロップも、毎日眺めてココロと転がしている間に、何だかかわいくなってきた、愛おしくなってきた私。暑い夏の日、みんなで梅ジュースにしていだける日を楽しみにしています。(学生たちも楽しみにしています!)

①広場で収穫した梅 ②購入した梅 どちらのジュースにするか、お選びくださいね。

飲み方は、【原液を3~4倍に薄めて】

- ①冷水割り
- ②牛乳割り
- ③白ワイン割り (大人のみ!)
- ④日本酒割り (大人のみ!)

【原液のまま】

- ①カキ氷のシロップ
- ②ジャム・蜂蜜の代わりにパンやホットケーキにも相性抜群だそうです。



## さあ、水遊びの季節だ

梅雨入りしたというのに、真夏のような気温が続いています。そろそろ水遊びの季節ですね。広場では、保育室前にプールを出して、水遊びを楽しめますよ。気温やお子さんの体調を見て、遊びを選んでくださいね。

今日も早速服を脱いでプールの中へ！ 濡れた服は植え込みの上に干しておく・・・帰る頃にはすっかり乾きました。

着替えやタオルなど、必要なものをご持参ください。広場にもタオルがありますので、忘れた場合は、ご使用くださいね。



## わらべうた



♪うえから したから おおかせこい ~

今日も齋藤先生の優しい歌声が流れてきます。すると子ども達は自然と集まってきて、リズムにあわせて腰を上下に揺らしたり、お母さんの目をじっと見て、歌に耳を傾けたり、心地よさを感じているようです。

大きなスカーフは、大きな風を吹かせてくれます。ダイナミックな遊びになって、Ｙくん（４歳）もいい笑顔ですね。

中には他の遊びをしている子もいますが、お母さんはスカーフを揺らしながら耳に歌を届けていますね。子どもの意思を尊重しながら、さり気なく歌って聞かせているなんて、素敵ですね。大好きなお母さんの歌声は子どもの耳と心に届いていることでしょう。



## ♪にぎり ぱっちり

たてよこ ひよこ  
ぴよぴよぴよ

手の中に包まれた布が、最後に「ぴよぴよ」の言葉に合わせて出てくると、中からひよこが顔を出したかのような感激を表します。

何度やっても同じように出てくるのですが、その度に新鮮な笑顔でよろこび、「もういっかい」とリクエストしたり、自分も布を持って大人の真似をしたりするようになります。

この「何度やっても同じ」というのが大切で、くり返しの中で子どもは期待感や達成感、大人との信頼関係を深めていくのです。

0・1・2歳のふれあいうた あそびうた やさしさを育む88の関わり より

### 野外保育のご案内 6/30 から配布します

今年度も、「親と子の広場」と土曜日の「さくらっこ広場」の共催で、夏と秋の2回、野外保育を計画しています。夏は遠出をして夏野菜の収穫に行きます。秋は小さいお子さん対象に、近場で自然の中を散歩します。詳細は、別紙「野外保育のご案内」をご覧ください。参加ご希望の方はお申し込みください。尚、お子さんの体調不良などで、急なキャンセルも当たり前ですので、普段の広場に参加するように気軽にお申し込みください。



たくさんのご参加、お待ちしております。

文責 奥田美由紀

### 今後の予定

7月3日(火)  
6日(金)  
10日(火)  
13日(金)  
17日(火)  
20日(金)  
24日(火)  
27日(金)  
30日(火)

8・9月は、  
夏休みです

10月2日(火)から  
再スタートします



桜の聖母短期大学

🏠 福島市花園町 3-6

☎ 024-534-7137

(代表)

